HARADA
Automotive Antenna Authority

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名　原田工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6904　URL https://www.harada.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三宅　康晴
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　総合企画部長　(氏名) 青木　隆　TEL 03-3765-4321
四半期報告書提出予定日　2019年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,182	△0.8	348	△52.1	320	△47.6	135	△74.9
2019年3月期第2四半期	21,345	△0.8	726	△37.7	611	△53.9	541	△33.6

(注) 包括利益　2020年3月期第2四半期　△101百万円　(―%)　2019年3月期第2四半期　3百万円　(△98.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	6.24	―
2019年3月期第2四半期	24.89	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	32,587	13,538	41.5	622.45
2019年3月期	35,236	13,803	39.2	634.61

(参考) 自己資本　2020年3月期第2四半期　13,538百万円　2019年3月期　13,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	―	0.00	―	7.50	7.50
2020年3月期	―	0.00			
2020年3月期(予想)			―	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2020年 3月期の連結業績予想 (2019年 4月 1日～2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△3.8	1,200	△30.9	1,000	△30.7	650	△30.6	29.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

新規　—　社　（社名）　　　　　　　　、　　除外　—　社　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	21,758,000 株	2019年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,102 株	2019年3月期	7,102 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	21,750,898 株	2019年3月期2Q	21,750,901 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（四半期連結貸借対照表関係注記） …… 8
（セグメント情報） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用、所得環境に支えられた底堅い個人消費により堅調に推移いたしました。欧州では、雇用の先行き不安、輸出の減速等により減速基調が続いております。アジアにおいては、中国では雇用情勢は概ね良好な状況であるものの、堅調であった個人消費の悪化や米中貿易摩擦の影響等により減速傾向となりました。また、アセアン地域においては、内需の鈍化や輸出の減速等により減速基調で推移いたしました。

日本国内経済につきましては、輸出に若干の弱さが見られたものの、個人消費の持ち直しや雇用、所得情勢の改善を背景とした緩やかな回復が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本では増産となったものの、アジア、欧州、北中米では減産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減産となりました。

このような状況のもと、当社グループは今期よりコネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした４ヵ年(2019年４月～2023年３月)の中期経営計画「NEW GROWTH」を策定いたしました。中期経営計画「NEW GROWTH」では、「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の３つの戦略を掲げ、これまで実施してまいりましたコスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上に加え、自動運転時代到来に向けたものづくりの高度化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策に注力をしてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は、日本を除く各地域での自動車生産台数は減少したものの拡販活動等により概ね好調となりました。しかしながら為替の影響等により211億82百万円（前年同期比0.8%減）となりました。利益面につきましては、売上原価率及び販管費率の上昇により、営業利益は3億48百万円（同52.1%減）となりました。また、経常利益は営業利益額の減少等により3億20百万円（同47.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億35百万円（同74.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動等により、外部売上高は75億91百万円（同4.0%増）、セグメント間の内部売上高は13億40百万円（同25.0%減）、営業損失は53百万円（前年同期は営業利益3億33百万円）となりました。

②アジア

中国市場での大幅な自動車生産台数の減少等により、外部売上高は46億72百万円（前年同期比18.2%減）、セグメント間の内部売上高は73億14百万円（同16.0%増）、営業損失は29百万円（前年同期は営業利益40百万円）となりました。

③北中米

北米市場における自動車生産台数は減少となったものの、拡販活動等により、外部売上高は66億18百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント間の内部売上高は40百万円（同9.0%増）、営業利益は1億44百万円（同35.6%減）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少や為替の影響はあったものの、拡販活動等により、外部売上高は23億円（同10.9%増）、セグメント間の内部売上高は5億64百万円（同48.6%増）、営業利益は1億84百万円（同135.6%増）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことでありますが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は238億71百万円（前連結会計年度末269億24百万円）となり、30億52百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が14億97百万円、「原材料及び貯蔵品」が9億86百万円減少したことによるものであります。固定資産は87億15百万円（前連結会計年度末83億11百万円）となり、4億3百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が5億60百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は325億87百万円（前連結会計年度末352億36百万円）となり、26億49百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は178億72百万円（前連結会計年度末199億26百万円）となり、20億54百万円減少いたしました。これは主に「１年内返済予定の長期借入金」が5億円増加し、「支払手形及び買掛金」が10億5百万円、「未払法人税等」が8億77百万円、「短期借入金」が4億74百万円減少したことによるものであります。固定負債は11億76百万円（前連結会計年度末15億6百万円）となり、3億30百万円減少いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は190億48百万円（前連結会計年度末214億33百万円）となり、23億84百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は135億38百万円（前連結会計年度末138億3百万円）となり、2億64百万円減少いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が2億42百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して14億97百万円減少し、53億73百万円（前連結会計年度末比21.8%減）となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「たな卸資産の減少額」9億64百万円、「減価償却費」4億87百万円、「税金等調整前四半期純利益」3億15百万円、「売上債権の減少額」2億51百万円等の増加要因がありましたが、「仕入債務の減少額」12億31百万円、「法人税等の支払額」10億52百万円等の減少要因により、1億61百万円の支出（前年同期は2億75百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」6億59百万円等の減少要因により、7億51百万円の支出（前年同期は5億36百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」197億23百万円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」199億52百万円等の減少要因により、4億45百万円の支出（前年同期は2億25百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年３月期通期の連結業績予想につきましては、2019年５月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2019年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,888,768	5,390,833
受取手形及び売掛金	7,962,315	7,618,629
商品及び製品	5,182,677	4,951,220
仕掛品	630,204	668,089
原材料及び貯蔵品	5,170,369	4,183,889
その他	1,113,103	1,080,393
貸倒引当金	△22,809	△21,342
流動資産合計	26,924,628	23,871,712
固定資産		
有形固定資産	5,271,153	5,831,389
無形固定資産	363,498	349,413
投資その他の資産	2,677,136	2,534,702
固定資産合計	8,311,788	8,715,505
資産合計	35,236,417	32,587,218
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,748,617	2,743,275
電子記録債務	734,288	673,636
短期借入金	11,424,233	10,950,057
1年内返済予定の長期借入金	500,000	1,000,000
未払法人税等	1,687,761	810,078
賞与引当金	340,814	343,426
役員賞与引当金	33,500	17,000
その他	1,457,572	1,334,696
流動負債合計	19,926,786	17,872,170
固定負債		
長期借入金	1,000,000	500,000
退職給付に係る負債	168,114	146,608
その他	338,247	529,631
固定負債合計	1,506,361	1,176,239
負債合計	21,433,148	19,048,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	10,174,863	10,147,386
自己株式	△2,346	△2,346
株主資本合計	14,051,679	14,024,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,637	12,855
為替換算調整勘定	△147,758	△390,089
退職給付に係る調整累計額	△115,290	△108,161
その他の包括利益累計額合計	△248,411	△485,394
純資産合計	13,803,268	13,538,808
負債純資産合計	35,236,417	32,587,218

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）
売上高	21,345,082	21,182,384
売上原価	16,552,341	16,687,104
売上総利益	4,792,740	4,495,280
販売費及び一般管理費	4,065,933	4,147,083
営業利益	726,807	348,197
営業外収益		
その他	79,354	103,944
営業外収益合計	79,354	103,944
営業外費用		
支払利息	91,523	128,109
為替差損	98,476	－
その他	4,259	3,470
営業外費用合計	194,260	131,579
経常利益	611,900	320,562
特別利益		
固定資産売却益	132,035	889
特別利益合計	132,035	889
特別損失		
減損損失	991	1,554
固定資産除却損	2,097	4,513
その他	－	14
特別損失合計	3,089	6,083
税金等調整前四半期純利益	740,846	315,368
法人税、住民税及び事業税	319,038	205,794
法人税等調整額	△119,649	△26,080
法人税等合計	199,388	179,713
四半期純利益	541,457	135,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	541,457	135,654

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）
四半期純利益	541,457	135,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,168	△1,782
為替換算調整勘定	△552,348	△242,330
退職給付に係る調整額	5,774	7,129
その他の包括利益合計	△538,404	△236,982
四半期包括利益	3,053	△101,328
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,053	△101,328
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	740,846	315,368
減価償却費	421,899	487,303
支払利息	91,523	128,109
売上債権の増減額（△は増加）	98,167	251,561
たな卸資産の増減額（△は増加）	△24,559	964,981
仕入債務の増減額（△は減少）	202,260	△1,231,198
その他	△445,370	75,552
小計	1,084,768	991,677
利息の支払額	△78,479	△120,643
法人税等の支払額	△754,158	△1,052,083
その他の収入	23,436	19,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,566	△161,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△506,786	△659,300
その他	△30,174	△91,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536,961	△751,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,611,748	19,723,222
短期借入金の返済による支出	△16,529,577	△19,952,673
長期借入れによる収入	－	500,000
長期借入金の返済による支出	△82,500	△500,000
配当金の支払額	△216,391	△162,400
その他	△9,023	△53,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△225,744	△445,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△184,968	△139,944
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△672,108	△1,497,344
現金及び現金同等物の期首残高	7,587,100	6,870,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,914,991	5,373,431

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループのIFRS適用子会社は、第１四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

また、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。

この結果、当第２四半期連結貸借対照表は、「有形固定資産」が268,157千円、流動負債の「その他」が56,126千円、固定負債の「その他」が198,242千円増加しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（四半期連結貸借対照表関係注記）

偶発債務（移転価格税制関係）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司は、当社及び当社の連結子会社との取引に関し、中国税務当局による移転価格税制に係る調査を受けており、当社は現時点で発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額を未払法人税等として計上しております。現時点においては、調査の最終的な結果を得ておらず、当社が見積り計上した金額以上の負担の有無及びその金額は今後の交渉状況等によることになります。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　2018年４月１日　至　2018年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 （注）１	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）２
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,299,227	5,712,053	6,259,576	2,074,224	21,345,082	－	21,345,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,786,782	6,303,246	37,472	379,479	8,506,980	△8,506,980	－
計	9,086,010	12,015,300	6,297,049	2,453,704	29,852,063	△8,506,980	21,345,082
セグメント利益	333,678	40,619	225,141	78,289	677,729	49,077	726,807

（注）１．セグメント利益の調整額49,077千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が991千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　2019年４月１日　至　2019年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 （注）１	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）２
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,591,630	4,672,282	6,618,247	2,300,224	21,182,384	－	21,182,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,340,016	7,314,528	40,854	564,022	9,259,421	△9,259,421	－
計	8,931,646	11,986,811	6,659,101	2,864,247	30,441,806	△9,259,421	21,182,384
セグメント利益又は損失（△）	△53,432	△29,144	144,968	184,476	246,869	101,328	348,197

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額101,328千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が1,554千円であります。